

リンス・コンディショニング用基材

パルナー SDPA-4B

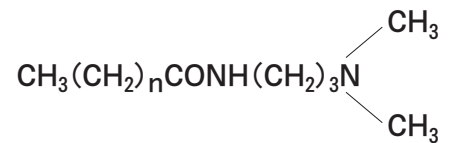
パルナーSDPA-4Bは三級アミドアミン型カチオン界面活性剤です
有機酸で中和し、リンス・コンディショナー用基材に使用します

■ 特長

- 4級カチオンに比べ、皮膚刺激性が低く、安全です
- スベリ感のある仕上がりが特徴の従来品(パルナーSDPA)に比べ、アルキル組成を調整することでまとまり感が得られます
- 4級カチオンに比べ、生分解性が高く、環境にやさしい基材です

性 状	パルナー SDPA-4B
成分名称	ステアリン酸ジメチルアミノプロピルアミド
表示名称	ステアラミドプロピルジメチルアミン
INCI名	STEARAMIDOPROPYL DIMETHYLAMINE
規格成分コード	51-532081
外 観	淡黄色フレーク状
アミン価	135 ~ 160
強熱残分(%)	0.5以下
融点(°C)	55 ~ 70
用 途	リンス、コンディショナー、 トリートメント基剤
荷 姿	20kg クラフトバッグ

<構造式>



主たるアルキル n = 16

官能評価

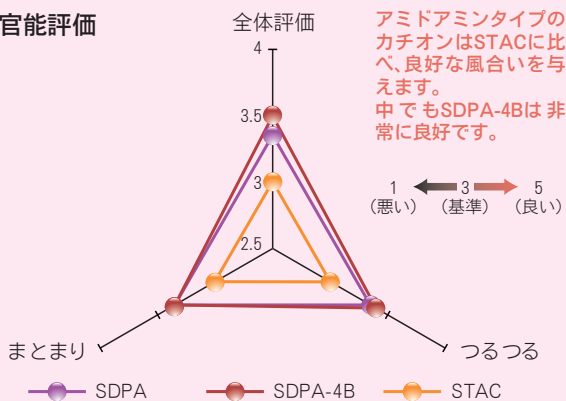
処理：

LES^{※1}で洗浄した毛髪10gにモデルリンス5gを均一に塗布し10分間放置した。その後流水で15秒間すすぎ、軽くタオルドライした後80°C乾燥機で30分乾燥した。

評価方法：

処理した毛髪を5人の男女によりSTAC^{※2}を基準に5段階で評価し、平均点で表した。

官能評価



※1 ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸Na

※2 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム

ウール糸に対する吸着率

モデルリンス：

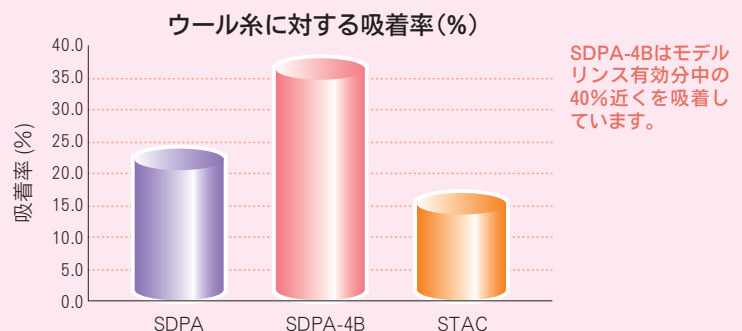
乳酸1.5モルで中和したアミドミン又はSTAC1gとセタノール5gに温水を加えてモデルリンスを調製した。

処理：

LESで洗浄したウール糸9.8gを、モデルリンス5gを300mlに溶解させた水溶液に40°Cで10分間浸漬し、その後絞り率150%になるよう遠心機で脱水し、80°Cで30分乾燥させた。

抽出：

シクロヘキサン/エタノール=4/6の溶剤を用いウール糸に吸着したリンス成分をソックスレー抽出機にて4時間抽出した。



●使用する高級アルコールのアルキル鎖長による風合いについて

モデルリンス：

乳酸1.5モルで中和したバルナー SDPA-4B 1gと高級アルコール5gに温水を加えてモデルリンスを調製した。

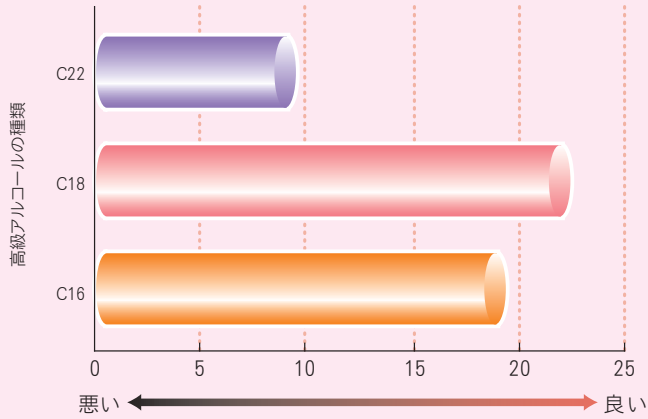
処理：

LESで洗浄した毛髪10gにモデルリンス5gを均一に塗布し10分間放置した。その後流水で15秒間すすぎ、軽くタオルドライした後80℃乾燥機で30分乾燥した。

官能評価

評価方法：

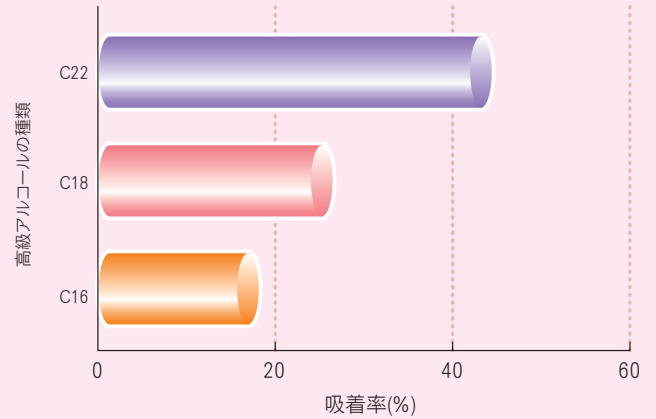
処理した毛髪を5人の男女により5段階で評価し、合計点で表した。
1(悪い)←3(基準)→5(良い)



吸着量

抽出：

シクロヘキサン/エタノール=4/6の溶剤を用いウール糸に吸着したリンス成分をソックスレー抽出機にて4時間抽出した。



高級アルコールのアルキル鎖長が長いほど、吸着量は多くなります。

- ・ベヘニルアルコールを用いた場合
損傷毛や柔らかい髪にコシやハリを与えます。
- ・ステアリルアルコールを用いた場合
十分な吸着量と良好な感触が得られます。

●処方中におけるシリコン配合効果

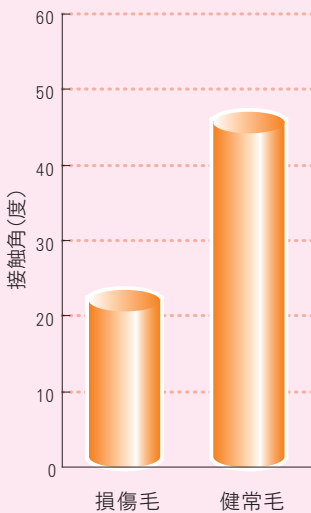
方法：

SDPA-4Bをベースとしたリンスで処理した損傷毛を用いて水の接触角を測定した。

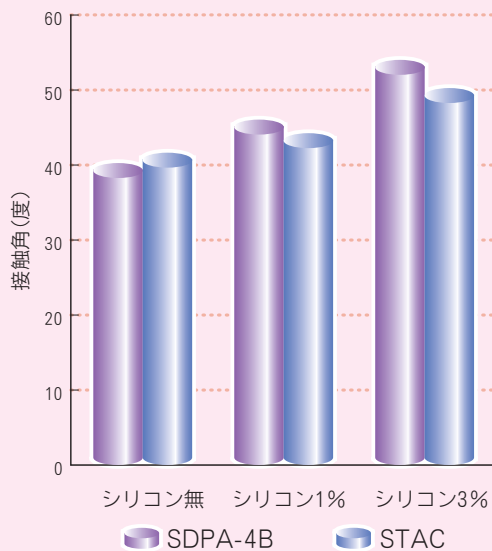
結果：

SDPA-4Bは、STAC※に比べシリコン配合による毛髪疎水性効果が高い。

リンス処理前の毛髪の接触角



処方中のシリコン配合量による接触角の影響

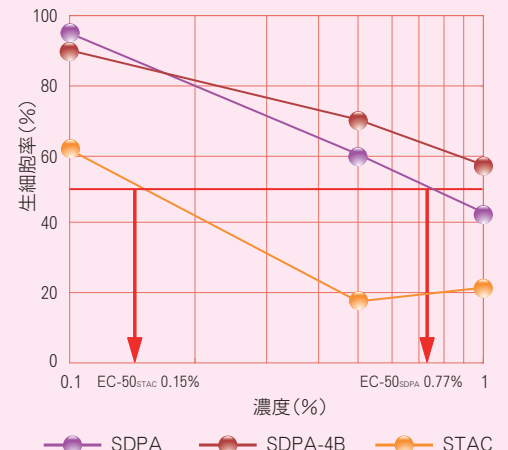


※塩化ステアリルトリメチルアンモニウム

細胞毒性試験

披験物質……………
バルナー SDPA, SDPA-4B 各0.1、0.5、1.0%
STAC 0.1、0.5、1.0%バルナー SDPA及びSDPA-4Bは乳酸にて中和し溶解した。
3次元培養皮膚モデル……………
LabCyte EPI-MODEL (株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング)
試験方法……………
各濃度試料溶液50μlを3次元培養皮膚モデル上に24時間暴露した。その後MTT法により細胞毒性を評価し、生細胞率50%のときの活性剤濃度をEC-50とした。

各種カチオンの細胞生存率



ホームページ
<http://www.miyoshi-yushi.co.jp>

油化本部 油化営業部
〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1 TEL.03(3603)1116(代) FAX.03(5680)6906

大阪支店 油化営業部
〒537-0025 大阪市東成区中道1-2-7 TEL.06(6972)3412(代) FAX.06(6978)2057

名古屋支店 油化営業チーム
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-24 TEL.052(951)8356(代) FAX.052(951)1015

製品をご使用になられる皆様へ
・製品の取扱いにおいては、化学物質による事故防止の為、当社発行のMSDS(製品安全データシート)を充分にご活用ください。
・本カタログ上での製品データは、当社試験法または規定の特定条件下で得られた測定値の代表例です。